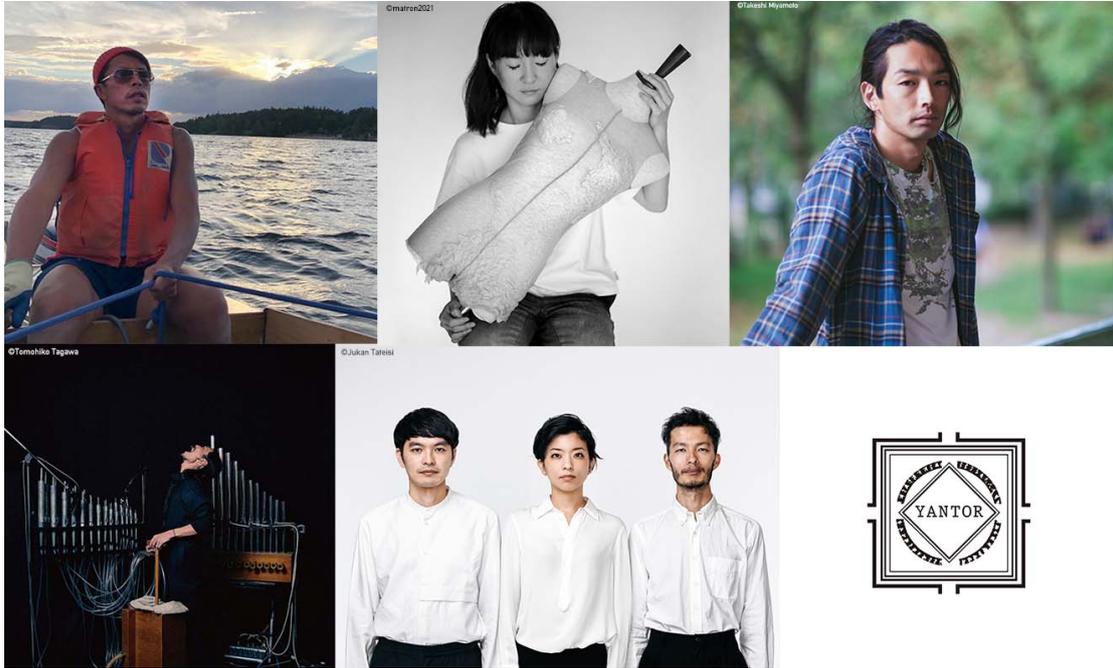


Co. Ruri Mito の新プロジェクト【TOUCH-ふれる-】が始動
第一弾『TOUCH-ふれる-#1』に森山未来、大植真太郎らが参加。



三東瑠璃主宰ダンスカンパニーCo. Ruri Mito は、新プロジェクト【TOUCH-ふれる-】をスタートする。#1 は「風」をメインテーマとする。三東瑠璃、森山未来、大植真太郎を主軸に、様々なアーティストとコラボレーションしながら領域横断的に展開する長期プロジェクトである。今作は、場所を限定せず移動し続け、留まらない、所有されないなど風の動きを読むような、風と共に動いていく作品であり、観客に様々な感覚を体感・体験してもらおう空間を生み出す。2022年2月にすみだパークギャラリーささや（東京）と横浜赤レンガ倉庫1号館3Fホールにて公開予定。音楽にFUJI|||||||||TA、美術にULTRASTUDIO、衣装にYANTORと個性的なメンバーが集結。キュレーターに高木遊、照明にYan Becker、音響WHITELIGHT、と脇を固める。

ステートメント

TOUCH #1 それは“触れる”ということ再考することだ。
全てが曖昧であり、混沌とする現代にて、私達人間は何に“触れ”そして何に“触れ”られているのだろうか。

本プロジェクト TOUCH #1 の相互接触には“風”が吹き抜ける。
風は動き続け、雲をよび、雨をもたらす。そして誰にも所有されることは決してない。
また風は災いを、時には恵みを与え、望もうが、望まないが私達人間を取り巻いている。

TOUCH #1 それは“風”を表現空間にて再知覚することだ。
TOUCH #1 はアーティストが生み出す空間で、来訪者が1つのアクターとして介入するパフォーマンス・インスタレーションである。
COVID-19により、触れることが多義化した2022年にて、TOUCH #1 は、東京・横浜の異なる倉庫でのクリエーションを来訪者に公開する。

ULTRA STUDIO の建築空間が、そしてFUJI|||||||||TAの音響空間が、またYANTORの民族的空間が折り呼応し重なる。
この重層的な空間において、三東瑠璃、森山未来、大植真太郎の三人の肉体は、風を受け、纏い、どのように出会い、別れるのか。
止まることのない風のように、クリエーションはすでにパフォーマンスとして始まっている。
人間の触発が生み出す“風”はどこまで続いていけるのだろうか。TOUCH #1 はこれをアーティストと来訪者が全感覚を賭して思索するのだ。

(キュレーター 高木遊)

出演者コメント

<三東瑠璃>

私にとって風とは、
こわいと感じるものです。
気持ちよく感じるものです。
懐かしさを感じるものです。
そして、感傷的になるものです。
触れた（何かが動いた）瞬間に風が吹いている。
風が運んでくるものに、老いと死を感じます。
生きているから感じるものです。
私もあなたも歩き続け、身体を通して体感する。
いろんな”ふれる”を探る旅。

<森山未来>

「風の時代」とは、ものを所有する時代からしない時代へと移行するとされる、近年、西洋の占星術の中で使われる言葉である。しかし、そんな言葉を用いなくともインターネットの目覚ましい進化により、他者とのコミュニケーションはより流動的になり、言葉はクラウドの世界に溶けて、今人類が滅亡したとすると、私たちのコミュニケーションの痕跡はどこにも残らない、とさえ言えるほどだ。COVID-19の流行により、一つの場所に集まることが難しくなり、グローバルだった世界は切り離され、孤立していき、今まで以上に場所というものにとらわれずに生きていく方法を模索することを余儀なくされている。個人と他者が断絶しているかのように感じられる昨今。その狭間を、とどまることを知らず流れ続ける「風」を感じながら、失われつつある「他者との接触=個人(自分自身)に触れる」試みとなるパフォーマンスとなることを志向している。

<大植真太郎>

プレ
周りの言葉とは全く連携もしないが、多分、僕のこの面々での役目はこの文章がここにある感じだと思って書く。
最近、コロナの影響が否かそれさえ定かではないがヨットを買った。向かい風でも右に左折り返せば前に進むことを小さな船に教えてもらい、様々な部位が剥き出しになりながらそれでいて木の柔らかな曲線美都温もりに囲まれ生活することで今更ながら生きてきた道を振り返ればもう46歳、一般的には人生の折り返しみたいだが、日々先人より学ぶこと多しとせせせせせと船の手入れに修繕に明け暮れている。そんなダンスのどの字もない折に、旧知の仲間に加えて今まであまり関わり合いがなかった音楽、舞台美術に照明の様々な皆さんと仕事するこの機会に巡り合う。まあ、関わる人が増えると良くも悪くも右往左往が多くなるが、終わりを決めず回ごとにどこかへ進んでゆくこの一風変わったパフォーマンス形式はさながら、帆を上げて、風に身任せ、時に争い右へ左へ遠回り、回り回って、、、コロンプス。

クラウドファンディング実施（12月下旬～1月末実施予定）

観客と共有する実験的な空間を作り上げるため、またその過程も公開し共有していくためにかかるプロジェクトの経費を一部補填するためにクラウドファンディングを実施します。参加アーティストからのメッセージや創作の様子をお届け、等のリターンを準備中。開始時期はプロジェクトの公式 Twitter 等で告知予定です。

公式 Twitter https://twitter.com/TOUCH2021_2023

開催概要

TOUCH-ふれる-#1

会場・日程

- ◆東京会場 すみだパーク ギャラリーささや 2022年2月11日（金）～15日（火）
- ◆横浜会場 横浜赤レンガ倉庫1号館 3Fホール 2022年2月18日（金）～20日（日）

振付・演出・出演：三東瑠璃、森山未来、大植真太郎

音楽・出演：FUJI|||||TA セノグラフィー：ULTRA STUDIO 衣装：YANTOR

キュレーター：高木遊 照明：Yann Becker 音響：株式会社ホワイトライト

舞台監督：筒井昭善 写真・記録映像：Matron デザイン：岡崎真理子

制作：Co. Ruri Mito 制作協力：西原栄

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京（東京公演） 公益財団法人セゾン文化財団 芸術文化振興基金

共催：横浜赤レンガ倉庫1号館（横浜公演のみ）

主催：Co. Ruri Mito

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしく願い申し上げます。

お問い合わせ Co. Ruri Mito(制作:橋本) TEL:050-5532-4602 メールアドレス:info@rurimito.com

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。